

社会福祉法人やまびこの会

令和 6 年度事業報告

はじめに

令和 6 年度、4 月当初は 0 歳児 2 名、欠員 5 名でのスタートとなりました。

初めての欠員問題が大きな課題となった年となりました。9 月で 0 歳児の欠員は解消されましたが、運営費に大きな影響がありました。

職員体制について、採用活動は継続していたものの、やまびこが求める職員数を満たすことができず、職員の業務負担が課題となりました。

中長期委員会を 12 月に開催し、多くの職員、役員が出席し、やまびこをよりよくするための意見が多く出た、有意義な時間となりました。

広報活動として、Instagram への投稿を本格的に開始しました。職員から、普段の保育の様子を発信し、少しずつやまびこのファンが増えていくことを実感しています。

職員の負担を軽減するため、広報活動や地域支援活動をさらに充実させていくためにも、職員の補充はこれからも大きな課題となっていきます。

令和 6 年度の課題に対して

- ・ 少子化の影響による欠員の増加。園児を獲得し、運営を安定させる方策を実施する。
やまびこ保育園の周知、ファンを増やすため、Instagram 投稿を本格的に開始した。さらにやまびこの保育の魅力を地域に伝えていくため、子育てひろばなどの地域支援活動の充実が課題となった。
- ・ 職員の確保と働き続けられる職場環境の整備を進めていく。
職員確保のため、採用活動は継続していたが、充足させることはできなかった。採用活動方法について、人材紹介以外の手段も検討が必要となってくる。
- ・ 園の課題改善のため、意見を発信できる機会を設置していく。
中長期委員会を開催し、職員の率直な意見を聞くことができた。職員の協力の下、課題の改善に努めていきたい。
- ・ 老朽化に対する設備の入れ替えや修繕を行う。
給食室の食器洗浄機の入替えを行った。その他の修繕については予算の都合上、実施することができなかった。
- ・ 第三者委員を 3 名体制にしておくため、候補者を探す。
市議会議員に候補者の紹介をお願いしているが、現状進んでいない。候補者を紹介してもらえよう、再度連絡を取る。

法人の理念

児童福祉施設として、無認可時代からの保育の経験と人々とのつながりを生かし、入所の園児だけでなく、地域の家庭への子育て支援を行います。保護者や地域の住民のさまざまな要求や必要性を把握し、それに応えられる施設となることを目標にします。また、他の団体とも協力しながら、地域の福祉についても、社会福祉法人としてできることを探りつつ、地域に貢献していきます。

評議員

名前	住所	職業	任期
常田秀子	国立市富士見台	大学教授	令和 6 年 3 月 12 日～ 令和 9 年 6 月
菊池美智	府中市幸町	学童クラブ支援員	令和 6 年 3 月 12 日～ 令和 9 年 6 月
高橋尚人	府中市白糸台	大学職員	令和 6 年 3 月 12 日～ 令和 9 年 6 月
三田恵美	府中市白糸台	支援学校教員補佐	令和 6 年 3 月 12 日～ 令和 9 年 6 月
甲田直己	府中市美好町	建築事務所代表	令和 6 年 3 月 12 日～ 令和 9 年 6 月
坂根智春	府中市白糸台	特別養護老人ホーム職員	令和 6 年 3 月 12 日～ 令和 9 年 6 月
安田佳織	府中市朝日町	高齢者デイサービス施設看護師	令和 6 年 3 月 12 日～ 令和 9 年 6 月

評議員選任・解任委員

氏名	住所	職歴	任期
長田真紀子	府中市朝日町	やまびこの会監事	令和 5 年 12 月 21 日～ 令和 9 年 6 月
星直子	狛江市岩戸南	やまびこ元職員	令和 5 年 12 月 21 日～ 令和 9 年 6 月
菊池雪子	府中市紅葉丘	やまびこ職員	令和 5 年 12 月 21 日～ 令和 9 年 6 月

法人の役員

役職	名前	住所	職業	任期	
				初回	今回
理事長	古泉明彦	府中市多磨町	やまびこ職員	平成 29 年 6 月	令和 5 年 6 月 18 日 ～ 令和 7 年 6 月
理事	勝又真弓	府中市白糸台	やまびこ職員	平成 29 年 6 月	令和 5 年 6 月 18 日 ～ 令和 7 年 6 月
理事	麥倉豊	府中市多磨町	自治会会長	令和 1 年 6 月	令和 5 年 6 月 18 日 ～ 令和 7 年 6 月
理事	古泉久美子	府中市多磨町	やまびこ職員	平成 20 年 10 月 1 日	令和 5 年 6 月 18 日 ～ 令和 7 年 6 月
理事	藤井浩子	渋谷区初台	大きな木保育園園長	令和 5 年 6 月	令和 5 年 6 月 18 日 ～ 令和 7 年 6 月
理事	山口高男	府中市白糸台	設計事務所代表	令和 3 年 8 月 15 日	令和 5 年 6 月 18 日 ～ 令和 7 年 6 月
監事	井上礎幸	東村山市萩山町	税理士事務所代表	平成 20 年 10 月 1 日	令和 5 年 6 月 18 日 ～ 令和 7 年 6 月
監事	長田真紀子	府中市朝日町	看護師	平成 20 年 10 月 1 日	令和 5 年 6 月 18 日 ～ 令和 7 年 6 月

第三者委員

氏名	住所	任期
織戸小百合	国分寺市西恋ヶ窪	令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月
和中信男	府中市紅葉丘	令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月

定時評議員会

開催月	審議内容
6 月	令和 5 年度事業報告、令和 5 年度決算報告

理事会

開催月	議事内容
6 月	令和 5 年度事業報告、令和 5 年度決算報告、就業規則の改定、定時会の日程及び議題
9 月	慶弔見舞金規程、就業規則の改定、積立金の取り崩し、栄養計算ソフト入れ替え、食器洗浄機の入替え、ホームページ作成、エレベーター補修、最低賃金の改定によるパート職員時給の改定について、給与規程別表、理事長・園長の報酬額について
12 月	令和 6 年度 1 次補正予算案
3 月	令和 6 年度 2 次補正予算案、令和 7 年度事業計画、令和 7 年度当初予算案

事業内容

- 認可保育所の運営

中・長期計画

- 施設等改修計画
 - ・ 厨房機器の入れ替えの検討
食器洗浄機の入れ替えをおこなった。
 - ・ 中規模改修の検討
屋根、外壁、床、引き戸のレール等については次年度以降に持ち越す。

研修及び人材育成計画

- ・ 年2回個人面談を実施。職員個人の想いを聞くことができた。
- ・ 園内研修の開催方法について、職員の意見を取り入れ、変更を行った。

地域との連携について検討

- ・ 第十小学校へ年長クラスが訪問。連携を再開することができた。
- ・ 地域支援活動として赤ちゃんひろば、子育てひろば等を実施した。参加者を増やしていけるよう、引き続き内容等改善を続ける。

借入金返済について

やまびこ保育園開設にあたり、施設整備のために、福祉医療機構から5,000万円、府中市から2,000万円の借り入れを行いました。20年返済計画で、毎年、福祉医療機構、府中市への返済を行っています。令和6年度の返済金は、3,748,398円（医療機構2,866,700円、府中市881,698円）で、令和6年度末の残金は、13,893,239円（医療機構10,520,000円、府中市3,373,239円）です。

やまびこ保育園

令和6年度事業報告

はじめに

令和6年度は、欠員が多い年度初めだった。前年度は新入職員が多い関係で、キャリアアップ研修の履修があまり進まなかったが、今年度は、多くの職員がキャリアアップ研修を受講することができた。また、キャリアアップ研修で受けた研修をもとに、チューターとして、園内研修を進めたりした。

府中第十小学校との連携が復活できたことは、嬉しいことだった。

また、6年度は東京都の「すくわく」に応募し、「泥遊び」をテーマに全クラスで取り組めたこともよかった。

保育理念

かけがえのない一人ひとりの子どもたちに、全職員の深い愛情をもって保育にあたります。子どもたちにそそがれた愛情は、子ども自身が「自分をたいせつだ」と思える心を、そしてその先に「ひとを大切に思える」心を育みます。子どもたちの心に生きることの喜びを育てます。

保育目標

- 自分で考え、判断し行動できる子
- 感性の豊かな子
- 一人ひとりを尊び、仲間と協力し平和と民主主義を求められる子
- 働くことの喜びや尊さ、大切さがわかる子

保育方針

- 太陽、土、水など自然に十分触れながら、自然界への感動を通し、心も身体ものびのびと育つようにする。
- 異年齢の子どもたちや、障がいをもつ子どもが触れ合い、交流することを大切にしながら、豊かな人間関係が育つようにする。
- 園全体の保育士、その他の職員が、子どもへの共通理解の上にたった連携を心がけ、園全体の子どもその時々状況に対応できるようにする。

事業内容

- 延長保育
- 障がい児保育
- 一時預かり保育（定期利用保育、一般保育）
- 保育相談
- 地域子育て支援

・子育てひろば・あかちゃんひろば・子育て講座（親子クッキング、AED 講習、観劇）

1 施設運営

（１）児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	保育者数	園児数定員	備 考
ひよこ	0 歳	3 名	6	
あひる	1 歳	3 名	1 0	定期利用 1 名
うずら	2 歳	2 名	1 0	
すずめ	3 歳	2 名	1 0	
ひばり	4 歳	1 名	1 2	
つばめ	5 歳	1 名	1 2	
合 計		1 2 名＋フリー	6 0	

- ・ひよこの定員が充足したのが 11 月だった。
- ・年度末に転園児が 5 名出た。

イ 月別保育日数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合 計 2 9 1 日
25 日	2 4 日	25 日	26 日	26 日	23 日	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
26 日	24 日	24 日	23 日	22 日	2 5 日	

ウ 健康管理

子ども一人ひとりの発育発達の個人差（個性）を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組んだ。

- [1] 日常養護・健康管理・・・特別な配慮が必要な園児に関しては、保護者とも確認を取りながら、職員全体で共有した。
- [2] 病気の予防と早期発見・・・受診件数は 10 件
- [3] 安全と事故防止・・・毎年、園内研修を行い、安全・危機管理について研鑽した。
- [4] 健康増進と保健指導・・・計画的に指導を行った。
- [5] 環境衛生

年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	0 歳児組（月 1 回）、1 歳児組以上（年 2 回 5 月 1 1 月） 身体測定（毎月 1 回）
歯科健診	全園児（年 2 回 6 月 1 2 月）

エ 保育指針

情緒の安定と発達をはかり、豊かな情操を養い、良く考え判断し、創造性豊かな、心身共に健康な子どもを育てる。

オ 全体的な計画及び年間指導計画に基づいて保育を行った。

カ 計画していた主な行事は、滞りなく行う事が出来た。

キ 食事

〔1〕目標『しっかり食べる子』に育てる。

配慮事項・薄味、和風献立に心がけた。

- ・旬の素材を使った献立作りを心がけた。
- ・見た目に美しく、食べておいしい食事づくりを心がけた。
- ・保護者との連携を密にした。

「食べることは生きること」の冊子を、新入園の時に配付した。

離乳食から幼児食、食育として取り組んでいること、食事の考え方や、家庭でのヒントになるような1冊として作成したものを配付した。

〔2〕栄養管理

毎日の献立の栄養計算、保健所への月報の提出（年2回）を行った。また、やまびこ保育園の献立をホームページなどで、紹介した。アレルギーや宗教上など個別の対応を行った。アレルギー児2名、宗教上の除去の対応1名

〔3〕食育

毎月ー予定献立表の配付（幼児食・アレルギー幼児食・離乳食・延長補食）した。

掲示板ー食に関わる情報を提供した。

給食日より「ごはんちょうだい」ーやまびこ保育園の食事の紹介や栄養情報などをまとめ、毎月の献立表と一緒に配付した。

食を考えるー栄養士はできるだけ、保育室へ出向き、子どもたちの喫食状況を把握し、保育者と一緒に検討した。0歳児は子どもの食事の状況、離乳食の移行時期、献立について、担当と栄養士が話し合い進めた。また、月1回の給食会議にて、献立についての感想や反省、改善などや提供された食事への子どもたちの様子や感想・反省、改善案などを出し合い、よりおいしい食事作りへ取り組んだ。また、食育を含め食全般についての勉強、話し合いの場とした。

展示食ー玄関に、その日の給食の見本を展示した。

〔4〕衛生管理

○衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目にそって確認した。

○調理従事者の細菌検査（毎月1回） 調理室・乳児調乳室の掃除、ワゴン清掃（毎日）、冷蔵庫消毒、食器は洗浄後殺菌庫にて保管、原材料・調理済み食品の保存（2週間）をした。

〔５〕栄養給与目標（給食・おやつでとりたい栄養量の目安）

	エネルギー Kcal	蛋白質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン A μ g	B 1 mg	B 2 mg	C mg
3歳未満児	500	20	15	212	2.6	125	0.25	0.28	20
3歳以上児	596	23.9	17.9	248	2.3	135	0.31	0.36	20

〔６〕離乳食に関して

個人差を考え、無理のない離乳を進めた。

＜離乳食の進め方＞以下の項目を配慮して進めた。

- ①食べ易い形態で・・・子どもの状態にふさわしい形態で与える。手づかみ食べを十分に
し、噛める子どもに育てる。
- ②栄養と食品のバランスを考えて・・・ある程度進んだら離乳食の中に穀類・タンパク質
類・野菜の三種類を合わせる。
アレルギーをおこしやすい卵・牛乳については、使用しない献立にした。
- ③薄味で・・・調味料をできるだけ使わず、素材の味を生かして調理した。

〔７〕アレルギー・特別食に関して

アレルギー児の「食物除去」も、それぞれの子どもの症状により対応した。なお、ア
レルギー児の対処に関しては、保護者からの申請書と医師の指示書によって行った。ま
た、病気治療のために食物除去の必要がある場合には、保護者からの申請と医師の指示
により対応するが、今年度は対象児はいなかった。宗教上により配慮をする場合にも保
護者からの申請を受け、実施した。

ク 安全管理

交通安全教育（５月）

非常災害時の避難訓練 毎月１回 引き渡し訓練の実施（ ９月）

（２）職員の処遇

ア 職員構成

園	長	１名
主	任	１名
事 務	長	１名（マイナンバー取り扱い事務責任者）
副 主 任		１名
保 育 者		１９名
調 理 員		６名（栄養士含む）
看 護 師		１名
事 務 員		１名（マイナンバー取り扱い事務担当者）
用 務 員		４名
嘱 託 医		２名（非常勤）
非常勤、パート		若干名

- イ 健康管理
 - 健康診断 年 1 回（10 月頃）非正規常勤職員も園負担で行った
健康診断受診項目範囲については、理事長が認めた範囲とした
 - 細菌検査 年 12 回（毎月実施）
- ウ 職員会議
 - ・職員会議 年間 13 回
 - ・主任会議 毎週及び必要に応じて随時（理事長、園長、主任、副主任）
 - ・給食会議毎月 1 回
 - ・行事打合せ会議 随時
- エ 研修計画
 - ・キャリアアップ研修・・・のべ 15 名が受講できた
 - ・園内研修全職員（応急救護、人権及び虐待、保育内容、食育、保健など）
 - ・園外研修
 - ・リーダー研修
 - ・東社協主催研修
 - ・障がい児保育研修
 - ・府中市私立保育園園長会研修
- オ 退職・福利厚生
 - ・福祉医療機構退職共済制度加入
 - ・わーくびあ府中へ加入
- カ 職員育成にむけて
 - ・園長、理事長による面談を全職員で行った。

2 施設管理

（1）事務関係

- ア 会計事務、管理事務
 - 会計責任者・・・古泉久美子
 - 出納担当者・・・間宮咲子
- イ 児童処遇事務
 - 衛生推進者・・・菊池雪子（健康管理）
 - 職務分担・・・職務分担表を参照

（2）設備関係

- 施設改修及び設備の改善
 - ア 設備の安全点検
 - 職員会議、フロア会議などで、園舎内の環境を点検し、改善した。
 - イ 設備点検
 - 必要な設備については、業者へ点検を依頼した。

- ・排水管は年2回の清掃を行った。

(3) 備品関係

- ア 備品購入
- イ 保育用品購入・・・ソフトブロック
- ウ 給食用品購入
- エ 固定資産物品購入

(4) 災害対策

- ア 避難訓練
 - ・自衛消防計画に基づき、毎月1回行った。
 - ・引き取り訓練 9月
- イ 防災設備及び設備の点検委託
 - 年2回（内、届け出1回）鹿島防災設備会社に委託
 - 年1回・・・住崎設計事務所に委託
- ウ 非常食糧の備蓄
 - （全児童数＋全職員数）×3食×（3日）分を備蓄した。
 - 地域のための備蓄品を計画的に増やした。
- エ 不審者対応訓練・・・年1回行った。

3 保護者にむけて

(1) 保育への理解と協力の促進

ア 保育参加

保育参加は1年中オープンとし、保護者の参加を受け入れた。延べ85名の保育参加があった。

イ 個人面談

保護者との個人面談を必要に応じて行った。

ウ 保護者会

年2回（5月・11月）に開催し、クラス毎に懇談した。

エ お知らせ（SDGsの対策も考慮し、園メールでの配信で行った。紙で欲しい保護者には紙で配付した）

- ・園だより毎月1日に発行
- ・クラスだより毎月1日に発行
- ・保健だより毎月1日に発行
- ・献立表（離乳食・幼児・アレルギー）毎月1日に発行
- ・延長献立表毎月1日に作成
- ・ホームページに、保育の様子・地域支援活動・給食レシピ等を掲載
- ・行事や特別なお知らせなどは必要に応じて随時発行した

(2) 苦情・意見・要望について

地域の方からの苦情はなかった。

- ・ 苦情・意見・要望箱を玄関、掲示版（絵本コーナー側）の端に設置
意見をいただいた保護者とは、園長、理事長で直接お会い（ズーム）してお話が出来、
理解して頂けた。
- ・ 行事の後に、保護者からアンケートを記入してもらい、意見を聞き、改善にむけ、
集計の後には報告をした。

ア 第三者委員会・・・新しい委員さんになり、地域の情報も教えてもらう事が出来た。

4 地域社会との連携

調布クリーンセンターがやまびこ保育園を対象にイベントを計画してくれ、たくさんの参加（100名弱）で楽しむことができた。

また、多磨町自治会へ加入し、文化展に年長の鯉のぼりを展示した。

紅葉ヶ丘文化センターの夏祭りに、年長と職員の和太鼓演奏で参加した。

ア 地域支援・・・前年度より参加者が増えてきた。

- ・ 子育てひろば・・・保育所体験、あかちゃんひろば、親子クッキング
参加者が入園に繋がっている。
- ・ 赤ちゃんふらっと・・・地域の母子がいつでも利用できるよう受け入れていく。
今年度は利用者はいなかった。
- ・ 職場体験・ボランティアの受け入れ・・・小、中、高生の職場体験、ボランティアを
積極的に受け入れた。
- ・ 実習生の受け入れ・・・・・・1名
- ・ 施設の活用及び開放・・・父母会へ施設の貸し出し等を行った。
- ・ 世代間交流・・・シルバーさんに「敬老のつどい」へ参加していただいた。
- ・ インスタグラムの発信を行い、宣伝を強化した。

イ 小学校との連携

今年度は、保育園からの申し送り（保育要録）の際に、第十小学校の先生が、やまびこに来園され、子どもたちの様子を丁寧に伝える事ができ、また子どもたちの様子も直接見ていただくことができてよかった。また、その後、第十小学校を訪問し、授業に参加させてもらうことができ、非常によい体験となった。次年度からも継続していけるように働きかけていきたい。